

安全・安心 まちづくり町民大会を開催

6月26日、交通事故や犯罪、非行のない安全で安心なまちづくりを推進することを目的とした「第3回中山町安全・安心まちづくり町民大会」が中央公民館で開催されました。

はじめに、警察音楽隊による演奏会が行われ、事故防止の啓発を交えながらの演奏が披露されました。

続いて行われた式典では、安全・安心なまちづくりに多大な貢献をされたとして、防犯功労の部では中山町防犯協会の青木源三郎さん（金沢）、更生保護功労の部では中山町更生保護女性会の秋葉惇子さん（新田町）に感謝状と記念品が贈呈されました。

最後に、「町民一人一人が地域社会の一員としての責任を自覚し、思いやりの心で安全・安心な中山を目指そう」と参加者全員で大会宣言を採択しました。



警察音楽隊による演奏会



感謝状の贈呈

まちの人口

(6月末現在)

人口 **11,658人** (前月比+5人)
(男5,687人、女5,971人)

世帯数 **3,628世帯** (前月比+11世帯)

人の動き 出生5人 転入25人
(6月届出分) 死亡11人 転出14人

熊本地震義援金へのご協力ありがとうございます

熊本地震の被災地の復興に役立ててほしいと、次の方々より義援金をいただきました。

- ・中山中学校生徒会 81,305円
- ・豊田小学校児童会 21,120円
- ・中山町振興公社（ひまわり温泉ゆ・ら・ら） 34,213円

いただいた義援金は、日本赤十字社を通じて被災地に届けられます。



中山中学校生徒会



豊田小学校児童会



中山町振興公社

1年生に絵本をプレゼント

6月3日、佐藤町長と秋葉教育長が長崎小学校と豊田小学校を訪れ、1年生の児童に絵本と町立図書館「ほんわ館」のロゴが入った手提げバッグをプレゼントしました。

絵本のプレゼントは、町教育委員会が子どもたちの豊かな心を育む読書活動を推進し、本に親しむ町づくりを目指すために実施している事業で、『カブトムシのいきる森』『ふしぎなキャンディーやさん』など6冊の絵本の中から、児童たちが事前に希望した絵本1冊が佐藤町長、秋葉教育長から手渡されました。

佐藤町長が、「たくさん本を読んで、豊かな心を育ててください。今日プレゼントした本のほかにも、学校の図書館やほんわ館で面白い絵本を探して皆で読書を楽しんでください」と呼びかけると、子どもたちは元気よく返事をし、読むのが待ちきれない様子でページをめくったり、自分が選んだ本を読み終えた後、友達と交換する約束をしたりと大変喜んでいました。



豊田小学校



長崎小学校

長崎小5年生が昔ながらの田植えに挑戦



6月3日、長崎小学校5年生の児童が、総合学習の一環として学校近くの田んぼで田植えを体験しました。

田植えを体験するのは初めてという児童がほとんどで、裸足で田んぼに入り「冷たい」「ドロドロで足が抜けない」などと歓声をあげながら田んぼの感覚を楽しんだあと、町内の若手農家グループ「石っころ会」（石沢遼会長）の指導の下、「コロ」と呼ばれる昔ながらの道具で植え付け位置の目印を付け、苗を植える間隔や本数を確認しながら1本ずつ丁寧に苗を植えました。

その後、町内農家の協力により集結した26~70馬力の農作業用トラクター10台を思い思いに見学したほか、26馬力の小型トラクターと70馬力の大型トラクターを相手に5年生全員で綱引きに挑戦。全員の力を合わせても大型トラクターはなかなか動かず、苦戦を強いられていました。

田植えに綱引きなど、滅多にできない楽しい体験に、児童たちは大喜びの様子でした。今後は草取りなどをしながら生長を見守り、9月ごろに収穫する予定だそうです。

岡地区「お不動様」祭典

5月29日、岡地区で「お不動様祭典」が行われました。

昔から「お不動様」そばの沢を流れる水で目を洗うと眼病治療にご利益があるとされ、目の神様として地元住民に親しまれており、祭典は地区役員が中心となり毎年行われています。

また、ここから湧き出している水は町内を流れる不動沢川の源流の一つで清流としても知られ、不動沢川周辺では幻想的に光る蛍が見られることもあるそうです。

町民の皆さんも、清流を求め岡地区に出かけてみてはいかがでしょうか。



祭典に参加した地区役員の皆さん